



県内で活躍されている方が 令和6年度「ふるさとづくり大賞」を受賞します

全国各地でふるさとをより良くしようと頑張る団体、個人を表彰する、令和6年度「ふるさとづくり大賞」の総務大臣賞を、県内で活躍されている田村英彦氏が受賞します。県内の団体、個人が同賞を受賞するのは、令和2年度以来になります。

○ 表彰の内容

(1) ふるさとづくり大賞について (昭和58年度より実施)

ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図るため、全国各地でふるさとをより良くしようと頑張る団体、個人を表彰するもの。

(2) 実施主体

総務省

(3) 令和6年度受賞者

【内閣総理大臣賞】	最優秀賞	1 団体
【総務大臣賞】	優秀賞	1 団体、1 個人
	明日への希望賞	1 団体、1 個人
	団体表彰	15 団体
	地方自治体表彰	1 団体

○ 県内の受賞者

【総務大臣賞】 明日への希望賞： たむら ひでひこ **田村 英彦 氏** (千曲市)

【受賞者の概要】

長野県、そして千曲市に惚れ込み、東京から移住。豊かで穏やかな地域の良さを残しつつ地域内外の人が交わり、現代社会に合わせる形で、活発に人が人を想う社会事業を増やしていくことをライフワークとしている。具体的には、観光庁のワーケーション先進取組としても取り上げられる「レボ系ワーケーション」、千曲市でのモビリティ社会実験を継続的に行う「温泉 MaaS」、千曲市から社会事業に取り組む機会と人を創発する「まちづくり資源まるごと活用推進事業」、地元が愛するあんずの里を持続可能な場所につなげる「サトヤマフード」、しなの鉄道利用から広域回遊を生み出す「千曲川ゴーランド」など多くの事業を、それぞれ協業体制を作りながら、多くの人と共に推進している。

※ 表彰式は、令和7年2月10日(月)13時から 都市センターホテル(東京都千代田区)で開催されます。取材を希望される方は1月31日(金)までに総務省に申込みが必要です。

申込先等詳細は総務省報道発表資料を参照してください。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei09_02000162.html

※ 最近の県内受賞実績は別紙のとおりです。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)
担当 企画振興部地域振興課
活力創出係 栗原、帯刀
電話 026-235-7021(直通)
026-232-0111(代表) 内線3797
FAX 026-232-2557
E-mail katsuryoku@pref.nagano.lg.jp